

# 音 楽

## 令和5年度 授業改善のポイント

- (1) 育成を目指す資質・能力や思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素を明確にし、児童生徒が見方・考え方を働かせている姿や発言を想定した上で授業を構想する。
- (2) 知覚・感受することにとどまらず、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える活動を充実させ、表現の工夫や鑑賞に生かすことができるようにする。
- (3) 音楽活動と言語活動を行き来させる活動を通して、児童生徒が実感を伴って理解したり音楽のよさを味わったりすることができるようにする。

## 音楽的な見方・考え方を働かせて思いや意図をもつ活動の充実

### 【指導事例】

中学校第2学年 題材名「パートの役割を理解して合唱しよう」

「翼をください」 A表現 ア、イ(ア)、ウ(イ)

【共通事項】音楽を形づくっている要素：リズム、テクスチャ、強弱

本時のねらい（2／3時間）

リズム、テクスチャ、強弱などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて捉えたことを基に、音楽表現を創意工夫することができる。（思考力、判断力、表現力等）

### ポイント(2) 知覚したことと感受したこととの関わりについて考えを深める活動

**重要** 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える活動を設定します。



前時ではこの曲の変化を見付けて、音楽を形づくっている要素がどのように変化しているのかについて話し合いました。リズム、テクスチャ、強弱が変化していることに気付きましたね。それでは、それらの変化は曲想や歌詞の内容とどのように関わっているのでしょうか。



㊦と㊧の主旋律は、ゆったりとしたリズムですが、㊨からは弾むようなリズムに変化するので、前半は穏やかで、後半は躍動感のある音楽に感じます。

※知覚（聴き取ったこと）に関する部分——  
感受（感じ取ったこと）に関する部分——

㊨の部分は太空を自由に羽ばたく力強さを感じます。㊦、㊧の部分と㊨の部分では強弱が *mf* から *f* へ変化するからです。



㊦と㊧のリズムがゆったりとして穏やかな感じがするのは、自分の願いを大切に思っていることを表しているからだと思います。

㊦がユニゾン、㊧が主旋律と飾りの旋律、㊨の部分が主旋律とハーモニーをつくる旋律で、音楽が広がっていく感じがします。



### ポイント(3) 音楽活動と言語活動を行き来しながら、音楽表現を創意工夫する活動

**重要** 曲に対する自分のイメージを膨らませたり、他者のイメージに共感したりして、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら、表したい歌唱表現について考えることができるようにします。



音楽の構造と曲想や歌詞との関わりについて考えたことを、表現に生かしていきましょう。どのような工夫が考えられますか。全体で話し合ってみましょう。



㊦と㊧は「翼がほしい」という思いを丁寧に歌いたい。旋律が跳躍する部分はなめらかに歌いたいな。

力強さを表すには、㊨の *f* をできるだけ強く歌うといいと思う。



歌って試す

歌って試す



旋律が跳躍する部分は空への憧れのようなから、もっと柔らかく広がっていくような歌い方になると、心の中の大切な願いを表現できそうだよ。

確かに力強くなったね。でも、悲しみのない自由な空へ飛び立つことができる喜びや憧れを表したいから、あまり硬すぎない歌い方がいいと思う。伸び伸びとした *f* で表現したいな。

